

1. 事業の基となる施策

○第六次福井市総合計画

基本目標	みんなが学び成長するまち
政策	健やかで自立心をもった感性豊かな子どもを育むまちをつくる
施策	子どもの健全な育成をはかる

2. 事業の目的

子どもたちが、緑豊かな自然の中で行う集団宿泊生活、野外活動、自然観察などの活動をとおして、自然に親しみ心身を錬磨し豊かな情操や社会性を養うとともに、自律・協同・友愛・奉仕の尊さを体験的に学習する場の提供、及びそれらに関する指導のため年間を通じて運営している。

少年自然の家は、1970年（昭和45年）以降、政府が積極的に国庫補助金を支出して国や地方自治体で、義務教育の諸学校に在籍している少年を対象に設置した社会教育施設である。

3. 市が行う必要性

体験活動は、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力などの生きる力、子どもの成長の糧としての役割が期待されており、教育活動の一環として、体験活動の機会を意図的・計画的に創出することが求められている。福井市としても、体験活動は、人づくりの“原点”であり、青少年の健全育成を図るうえで重要な柱の一つと考えている。

福井市内には小学校が50校あり、宿泊体験学習の利用ニーズが5～10月に集中するため、本施設で受け入れが困難な場合は、近隣の青少年教育施設を利用しているのが現状である。

本施設はこれまで、学校や家庭では得がたい体験活動の受け皿として、長年重要な役割を担ってきた社会教育施設であり、学校関係以外にも子ども会やスポーツ少年団など多くの団体に活用いただいております。今後も福井市が体験活動の機会と場の提供に努めていかなければならない。

4. 事業の概要（平成25年度）

上記の「2. 事業目的」に即した、小・中学校の宿泊体験学習を中心とした団体の受入、及び主催事業などの活動。

(1) 事業期間

開所年度：昭和56年度 ～ 終了予定年度は設定していない

(2) 実施主体

福井市（直営）

(3) 事業の対象、または事業区域

学校行事の宿泊体験学習を中心とした小・中学校、及び研修活動目的の各種団体。（市外・県外含む）

(4) 事業実施手法

・小・中学校の宿泊体験学習の活動として

1日目は「朝倉たんさく隊」と称し、一乗谷の朝倉氏遺跡を班行動で協力しあい、クイズを解きながら福井の歴史を学び、およそ8kmを探索するオリエンテーリングを行っている。

（「朝倉たんさく隊」のゴール後、学校によってはキャンドル作りを加えることもある）

夜の部では、キャンプファイアー、またはキャンドルサービスを行い、火の尊さを学び、ゲームを通して仲間たちとの交流を深める。

2日目は、自然の大切さや、協力する心、生きる力を育むため、班行動で木の枝や板を使った木工クラフトや、昔ながらの薪を使った野外炊さんなどの体験活動を行っている。

・主催事業、ネイチャー寺子屋の活動として

倒木体験や間伐材などを使った木工クラフト、自然の家近辺で山野草の学習をし、それらを材料にした調理などの活動を通し自然観察、自然愛護につなげる。

また、参加者にアンケートをとり、意見を拾い上げ参加者のニーズをつかみ、活動の内容に反映している。

一例として平成 25 年度は、要望があったYの字型の切り枝を使ったパチンコ作りと、玄関の中に飾るミニ門松作りを実施した。なお、これらの新しい取組みを実施する場合は、指導係の職員が自ら試作することにより、作成に必要な時間を割りだし、子どもたちの力量に合うようにわかりやすい作成手順の資料を作成している。また、今年度よりクラフトのメニューに竹とんぼ作りを加えている。

・利用できる団体及び使用料などは以下のとおり

① 利用できる人

成人または青年の指導者に引率され、適切な活動計画をもった団体

・小・中学校の児童生徒	・青少年団体の指導者
・各種社会教育関係の青少年団体	・その他教育委員会が適当と認める団体

② 休所日

月曜日（第3日曜日の次の月曜日を除く）、第3日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日～1月4日)

③ 申し込み受付

各年度の利用受付 市内小・中学校の利用日が決まってから受付を開始（2月1日以降）。

種別（団体の区分）		小・中学校生及び引率者の団体	高校生・大学生、25歳以下の青少年及びその引率者の団体	その他の団体
使用料一人あたり	宿泊する団体（1泊につき）	市内 100円	320円	540円
		市外 210円	640円	1,080円
	日帰りの団体	50円	160円	270円
	キャンプ施設	(1泊) 50円	(1泊) 160円	(1泊) 270円
※所内食事料金	基本コース	朝食 360円	昼食 520円	夕食 650円
	追加コース	470円		850円
※野外炊さん食事料金	バーベキュー	A 830円	B 1,030円	C 1,240円
	カレーライス、ハヤシライス 520円（薪代30円を含む）			
野外炊さん経費	バーベキュー炭代1セット600円、炊さん薪代（野外炊さん食事発注をしない場合）1缶250円、ガスコンロ1基250円			
※リネン費	寝具使用料	一人1泊につき 108円		
	シーツ使用料	一人1セット172円		
教材費（一人分）	〈活動〉			
	朝倉たんさく隊10円、たいまつ（ナイトウォーク・キャンプファイアー）30円 キャンドルサービス20円、火おこし体験30円			
(1基分)	キャンプファイアー用（薪）井げた1,000円			
教材費（一人分）	〈クラフト〉			
	ネイチャースプーン・フォーク100円、木工ペンダント100円、 キャンドル作り150円、プラ・ネーム150円、森の仲間たち50円、ゴムはんこ120円 ブーメラン（紙製）20円、焼き杉200円、竹とんぼ80円			

※の食事料金とリネン費について

食事料金とリネン費は、利用者が銀行振込で直接業者に支払っている。

・少年自然の家で企画運営している、主催事業及びネイチャー寺子屋シリーズは、次の表のとおり

(例：平成 25 年度)

事業名	趣 旨	対 象	期 日
のんびり塾2013 春の自然を楽しもう	少年自然の家周辺の森を親子で散策し、春から初夏にかけての植物など自然観察を行い、また採取した野草や山菜を調理して味わうことで、自然の恵みや大切さを体験する機会を提供する。	小学全学年と 保護者20組	4月28日
ネイチャー サマーチャレンジ2013	集団生活・自然体験活動を通し、児童同士、そして大学生を中心としたサポーターと協力し、クラフトや野外炊さん、屋外活動を行うことで自主性と協調性を育む機会を提供する。	小学4～6年 50名	8月22日～ 24日
秋のほのぼの 親子体験塾	親子での1泊2日の宿泊型自然体験を通して、親子でゆったりした時間を共有し、集団の中で我が子の様子を見たりするなど、親と子の絆を深める機会を提供する。	小学全学年と 保護者20組	10月19日～ 20日
親子チャレンジ 冬フェスタ2013	自然素材を使ったクラフト活動を行うことで自然に親しみ、また、野外炊さん活動を通して親子のふれあいを深める機会を提供する。	小学全学年と 保護者20組	12月1日
雪と遊ぼう！ わくわく少年自然塾	1年の中で最も寒い時期に、厳しい自然に触れ家や学校では出来ない体験ができるよう、1泊2日の集団生活・自然体験を通し自主性と協調性を育む機会を提供する。	小学4～6年 50名	2月8日～ 9日
のびのび塾2014	日常の生活の中では体験できない倒木体験、シイタケ植菌や間伐材を利用したクラフト活動を通して、自然の恵みや間伐材の有効活用を知り、親子でのびのびと活動する時間を共有し、親子のふれあいを深める機会を提供する。	小学全学年と 保護者20組	3月15日

事業名	趣 旨	対 象	期 日
ネイチャー寺子屋 シリーズ	自然を活かしたクラフト活動や野外炊さんなど親子で参加できる各講座を日帰りで行い、親子のふれあいを深める機会を提供する。(全5講座)	小学全学年と 保護者30組 (5講座合計)	11月2日 12月14日 12月21日 2月1日 3月1日

※ **主催事業とは**、市内在住の小学生と保護者を対象に20組、また、小学4・5・6年生を対象に50名を募集し、少年自然の家で季節に合わせた内容の活動をするもので、年6回実施している。

平成25年度の一例としては、10月19・20日に一泊二日の日程で小学生と保護者を対象に「秋のほのぼの親子体験塾」と題して、倒木体験、間伐材で状差し作り、キャンプファイアー、竹を使った食器作り、秋刀魚の塩焼きを中心とした野外炊さんなどを行った。

また、主催事業では、サポーターを各班に2名程度配置し、起床から就寝時までフォローする手厚い体制をとり子どもたちの安全確保に努めている。

さらに、子どもたちだけの宿泊活動においては、看護師も1名配置しており健康面についても配慮し、保護者の方にも安心していただける体制をとっている。

※ **ネイチャー寺子屋とは**、11月から3月の閑散期に、施設の有効利用をはかるため、短時間でできる内容の活動を企画し、市内在住の小学生と保護者を対象に1講座当たり6組（20人程度）募集し、少年自然の家で活動するもので、年5回程度実施している。

平成25年度の一例としては、12月21日に10時から12時まで、「お正月を飾ろうミニ門松作り」と題して、玄関内に飾れるミニ門松作りを行った。

※ **サポーターとは**、本所職員だけでは、主催事業の活動において安全面が手薄となることから、一般の方からサポーターと称しお手伝いをいただける方を募集しており、面接、研修等を経てサポーター登録をした上で、主催事業の活動に参加協力をお願いしている。（福井県立大学のボランティアサークルの「レインボー」の方達を中心に45名がサポーター登録されている）

(5) 担当職員数

＜担当職員数＞

指導係4名（主催事業の開催当日は所属職員7名全員で実施）

＜業務内容＞

- ・利用者への活動指導（当日）
 - （朝食たんさく隊での、子どもたちの誘導や安全確保のための見守り）
 - （野外炊さんでの火の扱い方、調理方法などの指導）
 - （クラフト活動での作成法、各種道具の取り扱い方の指導）
 - （キャンプファイアー、キャンドルサービスでの指導及び安全確認）
- ・主催事業の開催（年6回）
- ・ネイチャー寺子屋の開催（年5回程度）
- ・主催事業・ネイチャー寺子屋の活動内容企画・立案、試作、及び準備（随時）
- ・主催事業等の市政広報へ募集記事出稿（開催2ヶ月前）
- ・学校等配布用チラシ作成（開催1.5ヶ月前）
- ・利用者負担金の請求書作成（当日）
- ・学校等に対し、宿泊体験学習利用者希望調査（10月）
- ・宿泊体験学習利用者日程調整（1月）
- ・学校関係以外の各種団体の受入受付（2月以降随時）
- ・受入の各団体と事前打合せ（利用1ヶ月前）
- ・利用者の食事発注に関すること（利用2週間前）
- ・各団体の受入準備（前日）
- ・実績まとめ（毎月）
- ・消耗品の調達・補充・管理（随時）
- ・各種照会文書に関すること（随時）
- ・ホームページの予約状況、主催事業等の募集などの更新（随時）
- ・サポーター登録に関すること（随時）
- ・施設の安全確認（随時）

(6)実施費用 ※単位：千円、決算額は千円未満切上げ、なお、25年度の決算額については見込額

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
決算額	11,505	11,138	10,974	10,601	10,589

25年度決算額内訳	決算額	備考(内訳)
報酬	26	運営委員報酬(出席者5名)
報償費	507	運営委員(出席者2名)、主催事業用講師謝礼、アドバイザー、サポーター報償費
旅費	21	私有車旅費
消耗品費	1,352	活動・事務用、主催・受入事業消耗費(スプーン作り、焼杉作りなどの材料)
燃料費	1,192	重油、灯油、ガソリン、炭、薪代
食料費	602	運営委員、主催事業等参加者、講師、アドバイザー、サポーター食料費
印刷製本費	69	所報(山鳩)作成費
電気料	4,612	全館
水道料	1,452	全館
医薬材料費	26	医薬品(体温計、軟膏、シップほか)
郵便料	24	切手代
一般電話料	197	
手数料	29	寝具類洗濯料、危険物取扱者手数料
その他の保険料	83	主催事業参加者及びサポーター等保険料
使用料及び賃借料	367	コピー機等リース料、テレビ受信料、公用車駐車場使用料、主催事業用リネン費
負担金補助及び交付金	30	東海北陸青少年施設協議会負担金、研修参加負担金、自治会清掃管理費
合計	10,589	

(7)事業実績**年間利用実績**

(延人数)

年度	総数		小学校		中学校		少年団体		高校・青年		一般	
	団体数	延人員	団体数	延人員	団体数	延人員	団体数	延人員	団体数	延人員	団体数	延人員
21	185	12,561	61	6,002	5	922	63	3,264	14	854	42	1,519
22	146	13,084	33	4,195	4	1,041	84	6,069	9	995	16	784
23	140	11,992	30	3,896	4	972	87	5,878	9	869	10	377
24	137	11,512	28	3,833	7	1,022	80	5,560	11	828	11	269
25	135	12,392	33	4,253	7	1,376	77	5,844	7	490	11	429

平成 25 年度利用実績

(延人数)

月	総数		小学校		中学校		少年団体		高校・青年		一般	
	団体	人	団体	人	団体	人	団体	人	団体	人	団体	人
4月	9	434	0	0	1	91	7	322	0	0	1	21
5月	19	1,794	10	1,333	1	35	8	426	0	0	0	0
6月	19	2,634	11	1,790	2	632	4	158	0	0	2	54
7月	16	1,578	4	354	0	0	10	1,208	0	0	2	16
8月	12	1,266	0	0	1	289	10	927	1	50	0	0
9月	9	1,221	0	0	1	195	3	721	3	265	2	40
10月	15	1,217	7	696	1	134	7	387	0	0	0	0
11月	9	523	1	80	0	0	6	231	0	0	2	212
12月	7	443	0	0	0	0	6	390	1	53	0	0
1月	4	257	0	0	0	0	4	257	0	0	0	0
2月	5	191	0	0	0	0	3	113	1	52	1	26
3月	11	834	0	0	0	0	9	704	1	70	1	60
計	135	12,392	33	4,253	7	1,376	77	5,844	7	490	11	429

主催事業等参加者実績

主催事業	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
回数	6回	6回	6回	6回	6回
参加者数	263人	261人	281人	201人	220人

祀り寺子屋	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
回数	12回	12回	7回	5回	5回
参加者数	141人	158人	111人	39人	81人

主催事業:平成25年度実績

日 時	名 称	対 象	参加数	
4/28	のんびり塾2013	小1～6と保護者	17 組	47 名
8/22 ～ 8/24	ネイチャーサマーチャレンジ2013	小4～6		49 名
10/19 ～ 10/20	秋のほのぼの親子体験塾	小1～6と保護者	14 組	32 名
12/1	親子チャレンジ冬フェスタ2013	小1～6と保護者	15 組	37 名
2/8 ～ 2/9	雪と遊ぼう！わくわく少年自然塾	小4～6		21 名
3/15	のびのび塾2014	小1～6と保護者	13 組	34 名
計			59 組	220 名

ネイチャー寺子屋:平成25年度実績

日 時	名 称	対 象	参加数	
11/2	星座のルームステラを作ろう	小1～6と保護者	6 組	14 名
12/14	オリジナルスタンプを作ろう	小1～6と保護者	8 組	17 名
12/21	お正月を飾ろうミニ門松作り	小1～6と保護者	6 組	19 名
2/1	みんなで節分を楽しもう	小1～6と保護者	5 組	12 名
3/1	せいろで蒸した手作り肉まん	小1～6と保護者	8 組	19 名
計			33 組	81 名

5. 所属による事業評価

「福井市少年自然の家の設置及び管理に関する条例」の第7条第1項に、少年自然の家の運営上必要な事項を諮問するため、少年自然の家に、福井市少年自然の家運営協議会を置く。となっている。

これにより、8名の委員で組織されている運営協議会を年1回開催し、事業結果及び計画等を報告し、この中で指導や指摘等をいただき、それらのご意見をしっかり受け止め事業運営に活かしている。

<事業目標（平成25年度）>

- ・年間施設利用者数 : 12,700 人
- ・主催事業（寺子屋シリーズ含む）開催回数 : 7 回
- ・主催事業参加者満足度 : 80%以上

<目標達成状況>

遅延又は目標未達成（数値目標あり）

- ・年間施設利用者数は、延 12,392 人で達成できず。
- ・主催事業等開催回数は 11 回、及び参加者満足度は 90%で目標達成した。

<評 価 理 由>

年間施設利用者数は、少子化の影響もあって、1 団体当たりの人数が少なくなったこともあり目標に 308 人及ばなかった。

一方、主催事業などは、季節に合わせた活動を企画・運営し活動する中で自然と親しみ子どもたちの友情や、親子の絆を深めてもらうことができた。

また、主催事業等のアンケートにおいて、子どもたちからは、「楽しかった。また来たい。」、そして保護者からは、「活動の中で、我が子の新しい部分が発見できたので参加してよかった。」と、うれしいご意見があった。なお、満足度については、『まあまあよかった』を含むと 100%である。

6. 平成26年度以降の事業の進め方

(1)平成26年度前半（7月末まで）の事業実績

平成26年度:利用実績

(延人数)

月	総数		小学校		中学校		少年団体		高校・青年		一般	
	団体数	延人員	団体数	延人員	団体数	延人員	団体数	延人員	団体数	延人員	団体数	延人員
4	6	345	0	0	1	138	2	73	0	0	3	134
5	14	1,059	8	779	0	0	3	213	2	59	1	8
6	15	2,167	9	1,471	2	378	4	318	0	0	0	0
7	12	987	5	318	0	0	7	669	0	0	0	0
計	47	4,558	22	2,568	3	516	16	1,273	2	59	4	142

(主催事業)

日時	名称	対象	参加者
4/27	のんびり塾2014	小1~6と保護者	10組25人

(2)平成26年度後半（8月以降）の事業の進め方

年間施設延利用者数は12,700人を目標数値としているが、研修活動をしなくて宿泊のみの利用（観光目的による宿泊希望）については、ご利用をお断りしている。

今後も、本施設設置の目的に合った団体にご利用いただき、参加者のニーズに合った活動を取入れるなど、主催事業等を通し新規の利用者を発掘する。また、内容の充実した研修活動を実施することで利用者喜んでいただき、リピーター確保につなげ利用者増を目指す。さらに、ホームページの内容を充実し魅力ある活動など情報発信していく。

- ・学校関係の利用については、12校が宿泊学習利用の予定
- ・学校以外の団体については、25団体から予約を受けている（7月31日現在）

(主催事業)の予定

日時	名称	対象	募集
8/8 ~ 8/10	ネイチャーサマーチャレンジ2014	小4~6	50人
10/4 ~ 10/5	秋のほのぼの親子体験塾	小1~6と保護者	20組
12/7	親子チャレンジ冬フェスタ2014	小1~6と保護者	20組
2/7 ~ 2/8	雪と遊ぼう！わくわく少年自然塾	小4~6	50人
3/14	のびのび塾2015	小1~6と保護者	20組

(ネイチャー寺子屋)の予定

日時	名称	対象	募集
11/15	星座のルームステラを作ろう	小1~6と保護者	6組
12/20	お正月を飾ろうミニ門松作り	小1~6と保護者	6組
12/27	内容未定	小1~6と保護者	6組
1/24	内容未定	小1~6と保護者	6組
2/21	内容未定	小1~6と保護者	6組
2/28	内容未定	小1~6と保護者	6組

(3)平成27年度以降の方向性及び理由

＜今後の方向性＞

「維持」

＜理 由＞

今後も、教育施設のひとつとして福井市の小・中学校を中心とした子どもたちに豊かな自然環境の下、学校や家庭では得がたい、自然と人とのふれあいが体験できる機会を提供し、豊かな心や社会性・協調性を養い、健全な青少年の育成を図っていきたい。

7. 関連事業

(1)市の事業で関連する事業

該当なし

(2)県や国、民間で関連する事業

福井県立青少年センター、 福井県立奥越高原青少年自然の家、 福井県立三方青年の家、 福井県立芦原青年の家、 福井県立鯖江青年の家、 国立若狭湾青少年自然の家、 敦賀市立少年自然の家
(各施設とも研修目的の各種団体の受入及び主催事業を行っている)

8. ホームページの検索

検索キーワード：「福井市・少年」

URL：http://www.city.fukui.lg.jp/dept/d620/camp/index.html